



安全安心な原木しいたけの「ほだ場」（登米市東和町米川地区）

## 「登米の森林から」

もり  
森林・林業の好循環による地域の健全な森林づくりを目指して！



津山町森林組合  
代表理事組合長  
高橋 平克



間伐を進めて地域の活性化を！

▶ 森林は、二酸化炭素を吸収して酸素を作り出すだけでなく、大雨から土砂災害を防ぐ「緑のダム」の機能や、日頃使用している水資源の涵養、地球温暖化の防止の機能など、私たちが生活していくうえで欠かすことの出来ない機能のほか、森林浴による健康増進効果に代表される保健・レクリエーション機能など多面的な機能を有しております。

▶ しかしながら、森林を見渡してみますと、手入れされていない荒れた山林が多く見受けられます。これは、戦後植林された木々が木材価格の低迷などにより、手入れが行き渡らず放置されているためです。このままでは前述した機能が発揮できなくなります。

▶ そこで、間伐を行い手入れを押し進めることにより、森林の持つ機能を最大限発揮出来るようにすることが重要になってきます。また、間伐を実施することにより生産される間伐材は、地元の製材所はもとより、合板会社及びチップ会社等へと供給され、いろいろな形に変わり皆さんに利用されます。

▶ このように、間伐を押し進めて行くことは、森林をつくるうえで欠かすことの出来ない作業であります。関係者が連携し、この作業を継続して行くことが、将来に向け地域を守り、地域を潤し、地域を発展させるものと考えますので、皆様のご理解とご協力をお願いします。

# もり 登米の森林 から 第5号

＜共同執筆・編集＞

宮城県登米地域事務所林業振興部  
登米市産業経済部産業政策課  
登米町森林組合  
東和町森林組合  
津山町森林組合

## CONTENTS

- ◆ 巻頭言 …… 1
- ◆ 森林づくりの技術 …… 2
- ◆ 森林づくりへの支援 …… 2
- ◆ シリーズ・インタビュー …… 3  
ヤマで働く！
- ◆ ハイ！こちら森林組合 …… 4
- ◆ 登米市NOW！ …… 5
- ◆ トピックス …… 6
- ◆ ふるさとの自然案内 …… 7
- ◆ コラム …… 8



間伐材の活用事例  
(海岸林再生工事例の防風柵)

## シリーズ・ 森林づくりの技術

### その⑤ いつ伐るのは太さ次第(目標林型)

#### <前号のおさらい>

人工林を間伐しないで放っておいたら、幹はあまり太らないことは前号で述べました。今回は経済林の目標になる「目標林型」について考えてみます。

#### <目標林型とは何か>

経済林における目標林型は、①何の樹種で、②直径何センチの材を、③何年後に、④ヘクタール当たり何本で、に尽きるとされています。計画目標として具体的でなくてはならず、漠然とした長伐期・複層林・混交林・広葉樹林化では経済林の目標とは言えません。



<間伐された人工林>  
目標とする太さと本数を目指して、様子を見ながら間伐をしていきます。

#### <目標径級と収穫本数の決め方>

まず目標径級を決めます。そして胸高断面積一定の考え方から自ずと目標本数が決まります。スギで 50cm なら 300 本/ha, 60cm なら 200 本/ha などです。「いつ」を先に決めるのではなく、太り具合を見て「いつ」を決めます。長伐期にするにしても、目標径級と目標本数は決めるべきです。

#### <途中段階の目標林型>

最終到達点（主伐）における目標林型は上記のように明確にすべきですが、これとは別に途中段階（間伐）の目標林型というのがあります。現状から最終目標に至る通過点として、5年後10年後に目指す本数と直径を決めます。途中段階の様子を見ながら、間伐スケジュールの修正等を行います。

## シリーズ・ 森林づくりへの支援

### その④ 伐採造林一貫施業

#### ◆なぜ一貫施業なのか

目標林型に達した人工林を収穫（主伐）した後は、きちんと造林して下刈りなどの保育もきちんとしないと、森林に戻りません。放ったらかして森林に戻すには、人間の寿命を超えた悠久のプロセスが必要です。

造林を一からやり直すのは大変なことで、造林下刈りなどは山の仕事でも最も過酷な作業です。

伐ったらすぐ再造林すれば、雑草の勢いが強くなる前に作業することができます。

一貫施業はこれを更に進めて、伐りながら植える準備をする、というものです。伐採で使っている重機が山にあるうちに、残材を整理して地寄せを進め、運搬車があるうちに苗木も運んでしまおうというものです。

一部地域では既に始まっており、登米管内でも取り組むこととしています。



<下刈りの現場>

#### ◆一貫施業への支援策

- 「温暖化防止森林更新推進事業」（みやぎ環境税）  
定額補助 150万円/ha 以内  
環境に配慮した伐採地での植栽に補助
- 「花粉発生源対策促進事業」（国庫補助）  
標準経費の実質72%補助  
低花粉品種や広葉樹などの植栽

#### ◆今後の課題

補助を活用するには4月から3月の間に事業を実施しないといけません。秋冬に伐って春に植える、という形が取りにくく、夏場の伐採や植栽も想定されます。比較的植栽時期を選ばないコンテナ苗の活用や、夏場伐採に対する森林所有者の理解が必要になります。



<コンテナ苗>

※ 詳細は、各森林組合または登米地域事務所林業振興部、登米市産業政策課へお問い合わせください。

# シリーズ・インタビュー ヤマで働く！

現在、植林や間伐など森林の造成や整備のため働く人々は県内でわずか 1,400 人ほどです。しかし、こうした方々の活躍が、本県の全国有数の木材生産や多様な森林機能の発揮を支えているのです。このコーナーでは、そのような「普段はあまりお目にかかれないけれど、実は私たちの豊かで安全・安心な生活を支えている」ヤマのプロフェッショナル達をシリーズで紹介しています。

## 林業の現場から（第4回）

津山町森林組合 作業班  
まえだ としき  
前田 俊樹さん

前田さんは津山町森林組合に入って3年目。現在21歳で、登米地域の森林組合の中でも一番の若手作業員です。

**「住み慣れた地元で働きたくて、山にも興味があったので、森林組合で働き始めました。」**

おじいさん、お父さんは地元で有名な林業家で、前田さんも小さいころからその後ろ姿を見て育ってきました。

高校卒業後、1年間仙台で建設業に携わっていましたが、地元である津山町に戻り現場作業員として働き始めました。幼いころに重機の運転席に乗せてもらった記憶はあるものの、森林組合に就職するまでは特に林業の経験はなかったとのこと。

**「先輩たちは優しく教え方もうまくて、とても尊敬しています。組合の雰囲気も良く、毎日楽しく働いています。」**

取材に伺った日は、間伐した木の中で重機では届かないものを、ワイヤーで引っ張り作業道まで下ろす作業をしていました。作業班長とチームを組んで、順調に作業が進められているようです。

班長からは、「真面目に頑張っていて、覚えも早い。さすが林業界のサラブレッド」とお墨付きです。

**「重機を扱う仕事が楽しい。次はハーベスタに乗れるようになります。」**

先輩方に教えてもらいながら扱える機械や仕事内容も徐々に増えてきてい



係長の冗談に笑っています



グラブプルも慣れた手つきで操作



3月からチームを組む班長(左)と前田さん(右)

る前田さん。3年経って作業もだいぶ慣れてきたところではありますが、最も若い前田さんでも、先輩方と比べると、体力面ではまだまだと感じているそうです。先輩方に少しでも追いつこうと前向きに仕事に取り組んでいました。

林業従事者は他産業に比べ高齢化率が高く、若手作業員が求められています。若手の現場作業員が多くを占める津山町森林組合では、ベテラン作業員がしっかりと技術を伝えながら、明るく活気に満ちた職場づくりを心掛け、若手をのびのびと育てる環境が整えられています。

取材中も、作業の安全性に関する係長のアドバイスを真剣に聞きながらも、その後は笑顔で談笑する様子

が見られました。

少し照れながらも真面目に取材に応じてくれた前田さん。今後がとても楽しみです。優しい先輩方に支えられ、どんどん技術を磨いていただきたいと思います。

(インタビューア—)

県登米地域事務所 技師 大内 環

林業や森林組合への就業については、最寄りの森林組合、または(公財)宮城県林業活性化基金(宮城県森林組合連合会内) 電話 022-217-4307 までお問い合わせください。

# ハイ！ こちら森林組合！

森林所有者の協同組合である森林組合は、森林（もり）づくりの主要な担い手として、地域の森林が適切に整備・管理されるよう努めています。特に、収穫時期を迎えた木材資源を有効に活用しつつ山林の価値を高める「利用間伐」や「耐久性のある作業道開設」等を推進しており、これらを効率的な作業システムにより低コストで行う「集約化施業」を、県や市と連携して全力で展開しているところです。

このコーナーでは、登米市内の森林・林業地域において、森林整備のみならず様々な活動を行っている3つの森林組合の情報やお知らせをお届けします。森林・林業・みどりに関するお問い合わせは、是非森林組合へ！

## 登米町森林組合

### 登米森林公園で心とカラダをリフレッシュ！

登米町森林組合では登米市からの指定管理を受けて、登米町・上羽沢にある「キャンプビレッジ・登米森林公園」の運営を行っています。登米森林公園は山間の小さなキャンプ場です。コテージ、オートキャンプサイト、フリーサイトがあり、ベテランキャンパーから初めての方でも安心してご利用いただけます。コテージは全



木立に囲まれたコテージ

5棟あり、ご家族やグループでのご利用にピッタリ。テラスでバーベキューを楽しむ事が出来ます。

また、園内には木製遊具があるちびっ子広場もあり、子ども達の元気な声がこだましています。



広々としたオートキャンプサイト

利用者は年々増えていて、平成27年度は平成19年度の2倍となり、登米市以外の方のご利用が86%、関東の方が5%と、市内有数の宿泊観光施設となっています。

繁忙期を除いて、条件を満たす団体（市内の町内会、子供会、スポーツ少年団等）に対して施設利用料の一部を割引しております。ご予約や詳しい情報をお知りになりたい場合は下記にご連絡ください。

登米森林公園：電話 0220-52-3482  
ホームページ：http://www.forest100.jp/camp/

## 東和町森林組合

### 執行部が新体制になりました！

任期満了に伴う役員改選により平成28年3月25日の通常総代会において、理事12名・監事3名・計15名の新役員が選任されました。新体制のもと、系統運動「J Forest 森林・林業・山村未来創造運動～次代へ森を活かして地域を創る～」をテーマとし、本組合の環境分析等を踏まえ、地域実情に応じた具体的な実行項目や成果指標等の実行計画を策定してまいります。



全体会議の様子

なお、新役員は次のとおりです。

役職名	氏名
代表理事組合長	佐藤 芳 男
副組合長	及 川 清
理 事	及 川 光 男
理 事	山 崎 彦 吾
理 事	及 川 幸 也
理 事	小野寺 雅 雄
理 事	及 川 律 夫
理 事	佐 藤 勝 明
理 事	菅 原 健
理 事	佐 藤 正 敏
理 事	小野寺 富 雄
理 事	本 田 博
代表監事	赤 松 節 朗
監 事	田 村 市 郎
監 事	佐 藤 勝 夫

## 津山町森林組合

### 宮城県議会議員が作業現場を視察

去る3月29日、森林・林業・木材産業活性化宮城県議会議員連盟（以下「林活議連」）が、林業・木材産業の現地視察を行い、当組合の高性能林業機械を活用した伐採作業の現場を視察しました。

林活議連は56名の宮城県議会議員で構成され、視察には約20名が参加しました。

当日は好天に恵まれ、ハーベスタでの造材作業やフォワーダでの積み込み作業などを視



高性能林業機械の稼働状況を視察



参加議員の集合写真

察しましたが、ほとんどの議員が高性能林業機械を見るのが初めてということで、担当職員に熱心に質問していました。

伐採作業現場の後は、津山木材センターの木材流通や株式会社津山小径木の木材加工の状況のほか、協同組合ウディ津山の製材の状況などを視察し、川上から川下までの木材の流れについて現状を把握されました。

# 登米市 NOW!

## 市内産木材を活用し、木のぬくもりあふれる住宅を ～ 登米市地域材需要拡大支援事業 ～

### 1 事業の目的等

市内産の木材を活用した住宅等の建築を支援し、市内産木材の需要拡大を図り、地域林業の活性化と木材産業及び建築関連産業の振興を目的として実施しています。平成22年度の事業開始から昨年度までの6カ年間で、延べ230戸の住宅等の建築に対して補助金を交付しております。

### 2 補助対象事業及び経費

市民が、市内に建築する、市内産木材を使用した住宅等の新築及び増築に要する経費

### 3 補助対象基準

工 法	木造軸組工法
使用部材	市内産材を主要構造部材（梁、柱等）に50%以上使用
施工期間	年度内に主要構造部材の施工が完了し、市内産材の使用量並びに現地の確認が可能な住宅等

### 4 補助金額

延床面積	補助金額
40㎡未満	100,000円
40㎡以上 80㎡未満	200,000円
80㎡以上 120㎡未満	300,000円
120㎡以上 150㎡未満	400,000円
150㎡以上	500,000円



事業を活用して新築された住宅



# トピックス

## 米川生産森林組合の取組（特別寄稿）

米川生産森林組合は、「価値ある森林づくり」を目指し、森を育むための様々な事業に取り組んでいるほか、約900haの組合有林を活用したイベントや交流活動等も行っています。

今回は、その取組の一部を紹介します。

### 「みやぎ里山コモンズ・パートナーシップの森づくり」 ～(株)登米村田製作所と協定更新～

(株)登米村田製作所と当組合の「みやぎ里山コモンズ・パートナーシップの森づくり」の協定が満期となり、更新しました。

この協定は、組合有林のうち36haを「ムラタの森」と命名し、同社に貸して森林づくり活動を行ってもらうものです。これまでに従業員らが2,000本を超えるヤマザクラ等を植栽しました。

新たな協定期間は平成33年までの5年間で、広葉樹の植林・下刈活動を行うほか、山菜・きのこの等の環境に適した場所の整備活動を実施する予定です。



### 米川小学校「みどりの少年団」の森林体験授業

米川小学校「みどりの少年団」の森林体験授業が、4月22日に組合有林の「きのこの森」で行われ、児童25人がマイタケ菌の培地2,000個の伏せ込み作業に挑戦しました。

総合学習の一環で、地元の特産品マイタケの生産について知り、地域の産業に理解を深めて欲しいと毎年行われており、今年で11回目となります。当組合の指導で、1年を通して今回の作業のほか除草作業や収穫等を体験します。

マイタケは10月頃に収穫し、市内で子供たちが販売する体験学習も行います。



### 被災地支援事業「植林体験と山菜狩り」

とめ地域通貨「座ハイカラ」と当組合主催の「植林体験と山菜狩り」を、5月7日に組合有林の「山菜の森」で行いました。

平成15年から毎年開催しており、昨年からは東日本大震災の被災者を無料で招待しています。

当日は保育園児から80歳代まで約80人が参加し、ヤマザクラ600本を植栽しました。その後、山菜狩りを行い、お昼には現地で揚げたばかりの山菜の天ぷらを提供しました。

参加した被災者は、「仮設住宅では座ってばかりで、ここに来て生き生きできた。」「動いて暑かったけれど、楽しかった。」と感想を語っていました。



### 緑の募金中央事業「下刈り体験としいたけ狩り」

宮城県緑化推進委員会と当組合主催の「下刈り体験としいたけ狩り」を、7月10日に組合有林で行いました。

緑とのふれあい等を通して、南三陸町民との交流を図りながら東日本大震災からの復興を誓い、昨年からは実施しています。

約20人が参加し、参加者は汗を流しながら鎌で苗木を切らないように下刈作業を行いました。

その後、しいたけ栽培者の芳賀さんのお宅で栽培についてのお話を伺い、収穫体験では袋いっぱいしいたけを収穫して、大変満足した様子でした。



## 「ツキノワグマ」にご用心！！

今年の5月頃から、登米市迫町新田地区を中心に市内各地でツキノワグマの目撃情報が多数寄せられています。特に新田地区では、「クマ発見は50年以上前以来」との発見者のコメントが新聞に掲載されました。

今年が目撃情報が多いのは、昨秋にドングリが豊作であったため、メスグマの栄養状態がよく出産が多くなり、個体数が増加したためではないかと言われてはいますが、はっきりした理由は分かりません。

今のところ人的被害の報告はありませんが、用心に越したことはありません。山に入る際には、鈴等を身につけ音を出して歩き、人間がいることをツキノワグマに気付かせる必要があります。

また、登米市内ではツキノワグマによる森林の被害はあまり見受けられませんが、他の地域では「クマ剥ぎ」と言われ、主にスギなどの樹皮が剥がされる場合があります。山に入り写真のようなものを見かけたら、近くにツキノワグマがいる可能性が高いので、十分気をつけてください。



「クマ剥ぎ」による枯損



スギの被害状況

## ふるさとの自然案内

登米市の多様な自然環境を象徴する、国立公園・県自然環境保全地域・登米市自然環境保全地域……。身近にある素晴らしい自然について、職員が実際に足を運び、その感想を交えて紹介していきます。

### 伊豆沼・内沼の自然にふれてみよう

～「登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター」リニューアル～

「登米市伊豆沼・内沼サンクチュアリセンター」は、ラムサール条約登録湿地である伊豆沼・内沼の生態系の中の「水」をテーマに、豊かな生態の動植物の展示や専門的な情報を提供し、自然教育の拠点となっています。

さらなる環境教育の推進を図るため、みやぎ環境交付金を活用し、平成26年度から2ヶ年かけ改装工事等を実施

し、去る4月30日にリニューアルオープンしました。

改修により、大型水槽や魚に直接触れられるタッチプールのほか、検索用の

タブレット型端末が完備されました。また、ピオトープの整備により昔の自然豊かな伊豆沼の周辺環境を再現するなど、これまで以上に伊豆沼・内沼の自然環境を学びやすくなりました。

#### ●改装内容

- 展示水槽、体験型水槽（タッチプール・パノラマ水槽）の改修・設置
- ピオトープ、遊歩道、休憩広場の整備
- デジタル教材（Wi-Fi ネットワーク、タブレット型端末等）の整備
- 太陽光発電設備の設置
- 施設内外の照明のLED化

#### ●所在地

登米市迫町新田字新前沼 254

TEL：0220-28-3111

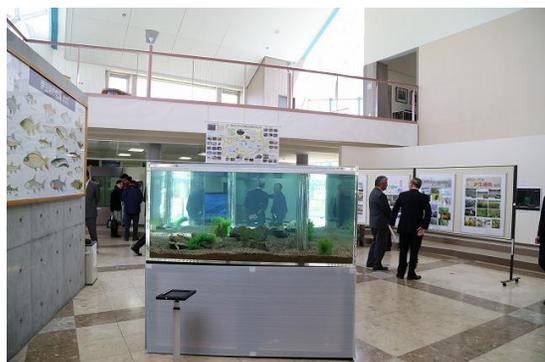
#### ●休館日

- 毎週月曜日（国民の祝日にあたる場合は、その翌日）
- 国民の祝日の翌日
- 年末年始（12月29日～翌年1月3日）

#### ●問い合わせ先

登米市市民生活部環境課

TEL：0220-58-5553



リニューアル後の館内の状況

コラム：目で見える登米の森林・林業

# 「本当にスゴイ!? 登米の森林・林業」

森林の市町村ベスト10で登米市の順位に注目すると、左から右に向かってランクアップし、登米地域における森林資源の特徴を示しています。

では、森林経営計画のカバー率では…?

なんと約36%でトップ!

私有林率や森林の配置が異なるので単純に比較できないものの、当地域は北上川の東側に森林が集中し施業集約化には有利であり、当地域における林業の成長産業化は、年成長量7万㎡ともいわれる人工林資源の利用にかかっています。

●市町村ベスト10

順位	森林面積(ha)		民有林面積(ha)		民有人工林面積(ha)		民有人工林材積(千㎡)	
1	仙台市	45,367	栗原市	30,251	栗原市	17,459	大崎市	4,447
2	栗原市	44,458	仙台市	25,838	大崎市	14,260	登米市	4,263
3	大崎市	42,981	大崎市	24,043	石巻市	14,038	栗原市	4,100
4	加美町	33,605	石巻市	23,096	登米市	13,681	気仙沼市	3,951
5	石巻市	31,207	気仙沼市	19,825	気仙沼市	12,558	石巻市	3,845
6	七ヶ宿町	24,069	登米市	19,554	・	・	・	・
7	気仙沼市	24,065	・	・	・	・	・	・
8	登米市	22,201	・	・	・	・	・	・
9	・	・	・	・	・	・	・	・
10	・	・	・	・	・	・	・	・

みやぎの森林林業(平成27年3月)より抜粋

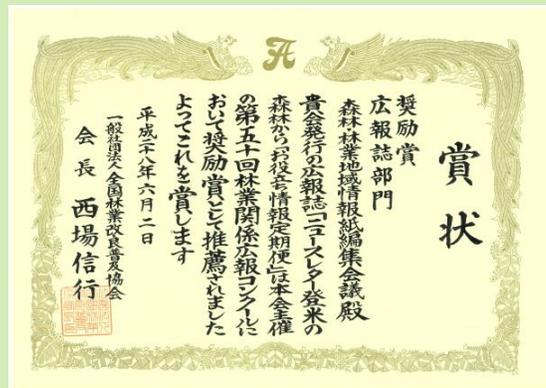
## 本誌が「第50回林業関係広報コンクール」奨励賞を受賞!

一般社団法人全国林業改良普及協会が主催(後援:林野庁,協賛:全国森林組合連合会)する「第50回林業関係広報コンクール」の広報誌部門で、本誌が奨励賞を受賞しました。

標記コンクールは、広報誌部門とホームページ部門の2部門で構成され、全国各地から広報誌部門18点、ホームページ部門10点の応募があり、それぞれ最優秀賞1点、優秀賞2点、奨励賞2点が選ばれました。

審査委員会からは、「森林組合、市、県が共同執筆・編集・発行するというコンセプトを非常に高く評価します。連載『ヤマで働く』、『ふるさとの自然案内』などの企画や、林業の情報誌に生物多様性などにも踏み込んだ記事があり、興味深く感じました。」との講評をいただきました。

なお、平成28年6月2日に三會堂ビル9階石垣記念ホール(東京都)で開催された同協会の通常総会の席上で表彰されました。



## 編集後記

- 「平成27年度森林・林業白書」が公表されました。木材自給率が26年ぶりに30%台に回復したことや東京オリンピック関連施設で木材利用が決まったことなど、明るいニュースがありました。
- 一方で、解決すべき課題は多くありますが、登米の森林・林業が明るくなるよう皆で力を合わせましょう。
- 「トピックス」では、米川生産森林組合に森林体験やイベントの取組について寄稿していただきました。誌面の都合で一部の紹介になりましたが、残りはまた次の機会に。
- 伊豆沼周辺でクマの目撃情報が相次いでいますが、迫町の住宅地ではカモシカが目撃情報も相次いでいます。近くに山がないのに一体どこからやって来るのやら…。



このパンフレットの印刷に伴い排出された温室効果ガスは、登米市及び米川生産森林組合等が森林整備により創出したJ-VERクレジットによりカーボン・オフセットされています。

## 登米の森林から 第5号

2016年7月

宮城県東部地方振興事務所 登米地域事務所 林業振興部  
〒987-0511 登米市迫町字西佐沼 150-5



バックナンバー

検索

登米地域事務所 登米の森林から